

全臨床医必携. 咬合理論のパイオニアによるマスターピース,
ついに発刊.

Dawson

Functional Occlusion

ファンクショナル・オクルージョン

From TMJ to Smile Design

Peter E. Dawson 著

小出 馨 監訳

A4 判 / 560 頁 / オールカラー

定価 29,400 円

(本体 28,000 円 + 税 5%)

ISBN978-4-263-44313-2

● 歯科臨床において咬合の不調和に伴う病変は多岐に渡り、日常的に遭遇する機会もきわめて多くなっています。しかし、これを的確に診断・治療するための明解な指針を見出すことはまだ困難であり、多くの臨床医が「咬合は難しい」と感じているのが現状ではないでしょうか。

● 本書は、長きに渡り咬合と咀嚼系の臨床・研究領域においてトップを走り、理想的な包括的歯科医療システムの構築に尽力してきた著者が、みずから臨床と理論を具体的に示した集大成といえる待望の 1 冊です。

● 顎関節の診断基準と中心位への誘導に関する詳細な解説、咬合の診断基準、機能的な咬合構成の基準と術式、そして審美性を治療に盛り込みながら理想的な治療結果を導く手順、これらが豊富な臨床例をもとに余すところなく整然と示されています。

● 20 年以上、世界中で多くの臨床医の指標とされてきた著者の前書“Evaluation, diagnosis, and treatment of Occlusal Problems : オクルージョンの臨床”で提示された PMS の方法論をより深化させた形で診断と治療の基準が示されています。

● 原著の内容説明 (Amazon 掲載の商品説明文より)

本書は、咬合に起因するさまざまな問題の原因とその可能な解決法を、インターディシプリナリーアプローチを用いて説明しています。著者のピーター・E・ドーソン博士は、理論とテクニックのバランスのとれた解説を通じて読者をゴールへと案内します。

著者はまた、オリジナル論文に関する議論不足を実際的に検証することで、一般的とされている多くの論説の誤解を明らかにしています。そして、さまざまな咬合状態に対し最も機能的かつ審美的な解決法を提示すると同時に、多くの臨床フィロソフィの異なる側面が示されています。

さらに、数百枚におよぶフルカラー写真、イラスト、図によって、咀嚼システムの様相、咬合的な問題の疫学、理想的な咬合を見つけるための手順が示されています。読者が一般的な開業医か専門医かにかかわらず、本書が自分の治療法と臨床フィロソフィに適用できることが明確にわかるでしょう。

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>



包括的歯科医療を目指す 全ての歯科医師にとってのバイブル

本書の主な特徴

- 精密なアトラスにより、咬合障害とその関連痛を説明するための複雑な情報をわかりやすく分析
- 数百枚のフルカラー写真とイラストで、問題点と解決法の手順を提示
- 治療手順はステップバイステップで解説
- 重要な考察をふまえて治療計画を概説し、ゴールとして何が達成されるべきかを詳述
- 治療計画とそれぞれの治療プロセスは、最も複雑な修復上の難問や審美的な難問を解決するあらゆるステップを提示
- さらに以下の点についてわかりやすく解説
 - ・ ごく「日常的な」歯科臨床における TMJs と咬合の役割
 - ・ 口腔顔面痛と TMD、そして前歯部の審美性における咬合の役割
 - ・ シンプルな咬合調整法とそのプロセスを患者に説明する方法
 - ・ 確実なスマイルデザインのための機能的なマトリクスコンセプト
 - ・ 咬合治療の 5 つのオプションとそれらを実践する方法
 - ・ スプリントの使用と誤用
 - ・ 十分なインターディシプリナリーアプローチのための咬合治療と各領域の専門医との関係調整
 - ・ 治療成功のための一定のクライテリアと検査方法

Contents

PartI 機能的調和 Functional Harmony

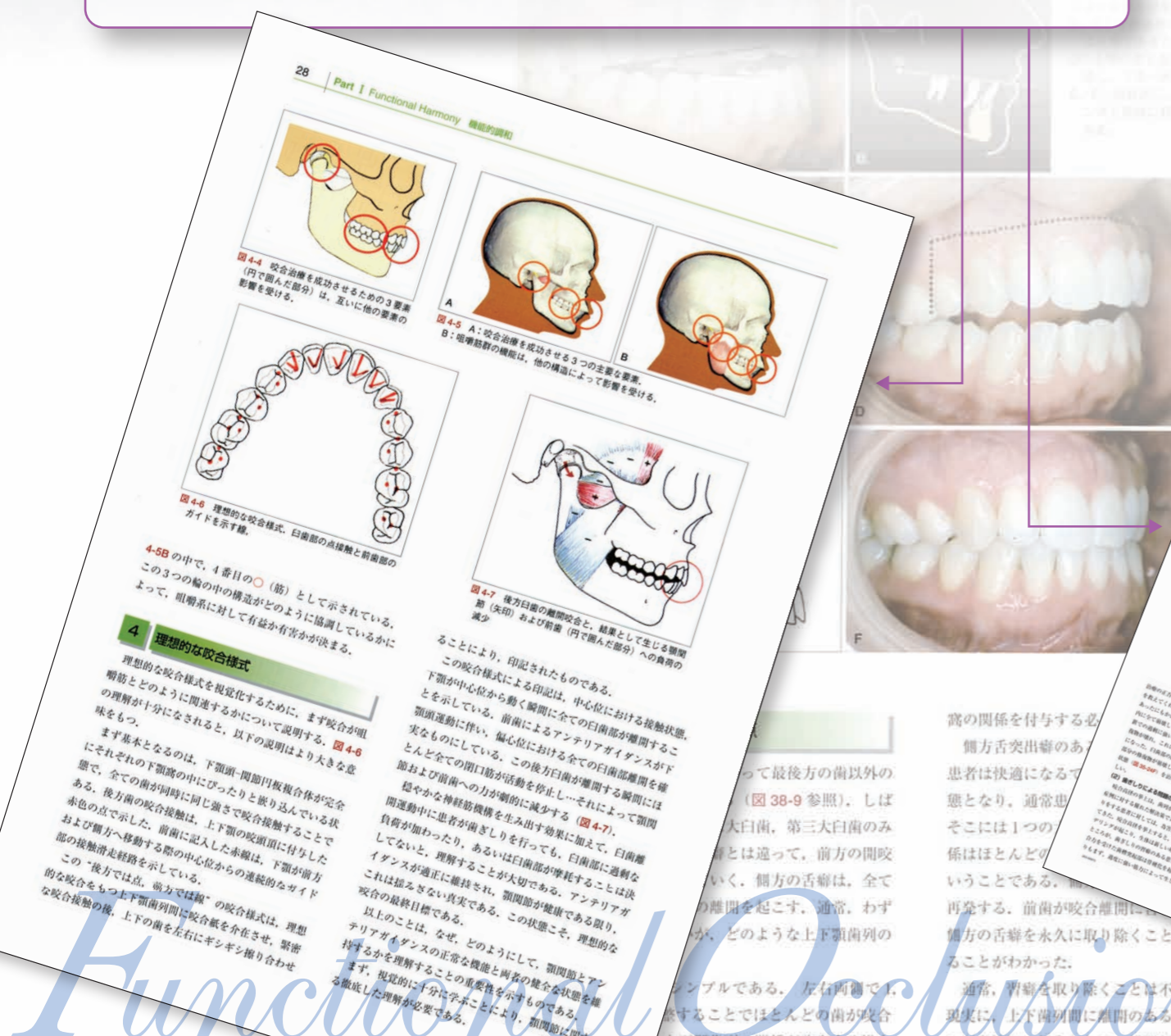
- Chapter 1 完全な歯科医療の概念
- Chapter 2 咬合の展望と“日常歯科臨床”
- Chapter 3 咬合病
- Chapter 4 咬合の決定要素
- Chapter 5 顎関節
- Chapter 6 咀嚼筋
- Chapter 7 中心位
- Chapter 8 適応中心位
- Chapter 9 中心位の決定
- Chapter 10 中心位を検証するための荷重負荷試験
- Chapter 11 中心位の記録
- Chapter 12 咬合の分類
- Chapter 13 咬合高径
- Chapter 14 ニュートラルゾーン
- Chapter 15 機能運動における切歯の運動領域
- Chapter 16 機能的スマイルデザイン
- Chapter 17 アンテリアガイダンスとスマイルデザインとの関係
- Chapter 18 下顎前歯部の修復
- Chapter 19 ロングセントリック
- Chapter 20 咬合平面
- Chapter 21 後方歯の咬合
- Chapter 22 咬合の分析と治療のための機器応用の簡略化

PartII 機能障害 Dysfunction

- Chapter 23 TMD の鑑別診断
- Chapter 24 咬合一筋障害
- Chapter 25 顎関節内障
- Chapter 26 関節包内障害の分類
- Chapter 27 顎関節の画像検査
- Chapter 28 ブラキシズム

PartIII 治療 Treatment

- Chapter 29 咬合の安定のための要件
- Chapter 30 規格化された治療計画の立案に基づく咬合問題の解決法
- Chapter 31 診断用ワックスアップ
- Chapter 32 オクルーザルスプリント
- Chapter 33 咬合調整
- Chapter 34 神経筋歯科治療：生体電子機器
- Chapter 35 咬耗への対応
- Chapter 36 深い垂直被蓋の問題の解決
- Chapter 37 前歯部水平被蓋問題の解決
- Chapter 38 前歯部開咬の対応
- Chapter 39 切端咬合の治療
- Chapter 40 フレアアウトした前歯の治療
- Chapter 41 交叉咬合症例の治療
- Chapter 42 叢生、歯列不正、インターロックした前歯の治療
- Chapter 43 重度の上下顎歯列弓の不正関係の問題解決
- Chapter 44 咬合分析のための頭部 X 線規格写真分析
- Chapter 45 咬合治療を行った患者の術後管理
- Chapter 46 咬合修復の将来の技術
- Chapter 47 咬合治療を成功させるための基準



Functional Occlusion

監訳者序文より抜粋

歯科医療は、咬合をはじめとする咀嚼系の回復と保全という大きな役割を担っており、全身の健康維持と長寿に不可欠なものとして認知され、社会の期待も近年大きく様変わりしてきている。この様な時に、待望の Peter E.Dawson 先生による著書“Functional Occlusion From TMJ to Smile Design”の邦訳版「Functional Occlusion」を上梓できたことは、この上ない喜びである。

(中略)

Dawson 先生は、50 年以上にわたって膨大な数の研究論文を各分野の専門家を交えて評価し、臨床の現場に適用するものかを見極めて来たが、誤った前提で結論を導いている論文があまりにも多過ぎ、最も多く誤った文献が見られた分野が咬合と顎関節関連であったと警鐘を鳴らしている。そして、一般に広まってしまった誤った認識を取り除き、顎関節障害の原因と治療基準を示し、咬合の問題点を成功裏に治療するにはこれらを理解することが不可欠であると伝えている。咬合分析は顎関節から始めるべきであり、顎関節を無視する歯科医師はスマイルデザインや咬合の診断と治療において決して有能にはなれず、また咬合を無視する歯科医師は、顎関節の診断と治療においても決して有能にはなれないと明言している。

(中略)

本書は、Dawson 先生が医療人としての生涯をかけて伝える貴重な指標であり、理想的な包括的歯科医療を目指し努力を惜しまない多くの歯科医師にとってバイブルになると確信している。

小出 馨 (日本歯科大学新潟生命歯学部教授)

訳者一覧 (訳出順)

佐々木啓一 (東北大学大学院歯学研究科教授)	五十嵐順正 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)	小林 博 (新潟大学大学院医歯学総合研究科准教授)
柴田 考典 (北海道医療大学歯学部教授)	茂野 啓示 (京都市北区・北山茂野歯科医院院長)	鈴木 哲也 (岩手医科大学歯学部教授)
小出 馨 (日本歯科大学新潟生命歯学部教授)	桑田 正博 (愛歯技工専門学校校長)	若林 則幸 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科准教授)
近藤 敦子 (日本歯科大学新潟病院准教授)	波多野泰夫 (日本歯科大学生命歯学部准教授)	鱒見 進一 (九州歯科大学歯学部歯学科教授)
高橋 睦 (日本歯科大学新潟生命歯学部助教)	小木 信美 (愛知県半田市立半田病院統括部長)	佐藤 亨 (東京歯科大学教授)
浅沼 直樹 (日本歯科大学新潟短期大学教授)	栗田 賢一 (愛知学院大学歯学部教授)	大岡 洋 (東京歯科大学非常勤講師)
荒川いつか (日本歯科大学新潟生命歯学部)	矢谷 博文 (大阪大学大学院歯学研究科教授)	浅野栄一朗 (福島県伊達市・伊達デンタルクリニック院長)
佐藤 利英 (日本歯科大学新潟生命歯学部准教授)	和嶋 浩一 (慶應義塾大学医学部専任講師)	渡辺 正宣 (仙台市青葉区・旭ヶ丘歯科クリニック院長)
水橋 史 (日本歯科大学新潟生命歯学部講師)	小林 馨 (鶴見大学歯学部教授)	西川 正幸 (日本歯科大学新潟生命歯学部)
小出 勝義 (日本歯科大学新潟生命歯学部)	五十嵐千浪 (鶴見大学歯学部講師)	野村 修一 (新潟大学大学院医歯学総合研究科教授)
古谷野 潔 (九州大学大学院歯学研究院教授)	渡邊 誠 (東北大学名誉教授、東北福祉大学教授・感性福祉研究所副所長)	大谷 賢二 (日本大学歯学部講師)
築山 能大 (九州大学大学院歯学研究院准教授)	服部 佳功 (東北大学大学院歯学研究科准教授)	石上 友彦 (日本大学歯学部教授)
山森 徹雄 (奥羽大学歯学部教授)	古屋 良一 (昭和大学歯学部教授)	寺田 眞人 (日本歯科大学新潟生命歯学部教授)
清野 和夫 (奥羽大学歯学部教授)	佐藤 裕 (医薬品医療機器総合機構)	遠藤 敏哉 (日本歯科大学新潟病院教授)
大川 周治 (明海大学歯学部教授)	市川 哲雄 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授)	前田 芳信 (大阪大学大学院歯学研究科教授)
山本 裕信 (明海大学歯学部講師)	志賀 博 (日本歯科大学生命歯学部教授)	池邊 一典 (大阪大学歯学部附属病院講師)
津賀 一弘 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科准教授)	石川 礼乃 (日本歯科大学生命歯学部非常勤講師)	西川 義昌 (東京都渋谷区・代々木上原デンタルオフィス院長)
細川 隆司 (九州歯科大学歯学部歯学科教授)	皆木 省吾 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)	兒玉 敏郎 (宮崎県宮崎市・こだま歯科医院院長)
正木 千尋 (九州歯科大学歯学部歯学科助教)	岡本 信 (岡山大学歯学部臨床准教授)	中島 優 (日本歯科大学新潟生命歯学部)

医歯薬出版 ご注文承り書

Dawson Functional Occlusion ()冊 ()冊 ()冊
 ()冊 ()冊 ()冊
 ()冊 ()冊 ()冊

ご指定納入店 () (納入店ご指定の場合 手数料はかかりません) 直送希望 (一回の発送につき手数料 400円が別途がかかります。)

●お名前

●ご住所 (〒 —)

●TEL

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633 にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp/> からもお申し込みいただけます。
 医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 2010年6月パンフレット作成